

第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成30年4月18日（水）13:30～
場所：勤労者福祉センター4階大会議室

■質疑の要旨（1/5）

	質問・意見	事務局回答
学識者	・土地利用や人口動向が将来どうなるのかを把握し、将来の都市構造を見据えつつ交通政策に取り組む必要がある。	・ご意見を参考に計画をとりまとめる。
	・10年後まで「実現の可能性について検討を進める事業（青い矢印）」としているものがあるが、どのように取り組まれると理解すればよいか。トラフィックゾーンなどが該当する。	・例えば、トラフィックゾーンの構築は実現に向けて様々な課題があるものの、交通政策として、将来に向けて取り組むべき施策として位置づけている。
	・成果指標1で、鉄道利用回数が増加している要因は何か確認しているか。	・（交通事業者）人口のはりつき方が変わり駅に近い環境に住む方が増加している事や市民病院の移転の影響も大きい。併せて駅裏口の開設や広場整備により、これまで鉄道を利用していなかった人が利用するようになった事。その他に、インバウンドの来岡増、岡山駅前のイオンを中心に、行楽で出かけている方の増加も考えられる。
	・成果指標1の公共交通利用回数は、鉄道の増加の影響が大きいいため、トレンドの直線回帰で目標を立てると達成が難しい場合がある。	・成果指標は、目標値の達成状況だけではなく、その要因を分析し、中間評価の段階で見直しも含めて確認していきたいと考えている。
	・成果指標3の歩行者数で、計測対象を20断面としているが、これまでに衰退している断面や、にぎわっている断面があると考えますが、足し合わせると変化がなくなるのではないかと。	・都心全体のにぎわいを測る指標としたいため、指標値としては足し合わせた数値としているが、各断面の変動を確認していきたいと考えている。
	・岡山市総合交通計画（素案）について、更に要約したものも作成してはどうか。	・今回配布したものをパンフレットとして、更に要約した概要版を作成することを検討する。

第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成30年4月18日（水）13:30～
場所：勤労者福祉センター4階大会議室

■質疑の要旨（2/5）

	質問・意見	事務局回答
学識者	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の利便性向上施策の中で鉄軌道と軌道を意識したものなければ、「鉄軌道」に統一した方が良い。 ・パンフレットは一般市民向けと思うが、MMやP&Rなど、一般の方がわからない用語が入っている。その用語の説明を記載して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を踏まえて計画をとりまとめる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の中の間評価は何を評価するのか。中間評価で、施策の見直しをするのか。また、進捗が上手くいっていない時に何をするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価では、目標に対して、どのような状況にあるのかどうか確認する。そのときに大きく社会状況が変わっているのであれば目標を見直し、修正する必要があると考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価のときは、同じ委員が計画の進捗を評価するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば同じ委員にお願いしたいと考えている。
市民等	<ul style="list-style-type: none"> ・実現化方策が岡山駅東側で多く、岡山駅西側が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を参考に今後検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通で都心に行こうとしても、道路網が整備されていないと、移動に時間がかかる。 ・総社・一宮バイパスの整備を国土交通省にお願いしたい。また、国道53号はどこにも抜け道がないため、改善いただきたい。現状では外環状が繋がっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道53号等の渋滞がひどく、路線バスがなかなか都心部に着かないという状況にある。そのあたりは、道路整備を進め、生産性や安全性を高めていくようにしているので、いただいた意見をもとに、更に検討していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティ化していく中で、病院やスーパーの施設が充実していてもそれを繋ぐ交通網がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見をもとに、更に検討していきたい。

第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成30年4月18日（水）13:30～
場所：勤労者福祉センター4階大会議室

■質疑の要旨（3/5）

	質問・意見	事務局回答
市民等	<ul style="list-style-type: none"> ハード面でのバリアフリー化について、ユニバーサルデザインの観点で取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市では従来からバリアフリー化に取り組んできたが、場所によっては十分でないところもある。今年度からバリアフリー基本構想の検討に着手し、多くの人が集まる地域で移動しやすい、経路や結節点の整備に向けた検討を進めていきたい。
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通について、バスもトラックもタクシーも乗務員がおらず、将来的な展望が難しい。その中で、バスは今後こういったサービスを提供するのか、行政と一緒に一から考え直さないといけないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> バス事業について、特に周辺部は大きく衰退してきている。大きな減便があり、廃止がされてきたことは承知している。周辺部において高齢化が進む中で、移動手段の確保は大きい課題と認識している。その中で路線バスの維持・存続は重要で、運賃収入や、ドライバー確保の課題について市も事業者、市民と一緒に検討したい。
経済界等	<ul style="list-style-type: none"> 観光需要への対応として、多言語化等が考えられるが、10年後には、現在よりも更に多国籍化している。 岡山は2次交通がわかりにくいと指摘される。観光客がわかりやすいように整備していただきたい。 外国人も個人旅行者が増えている。岡山が外国人の個人客に優しいまちとなれば来訪者の増加が見込めるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> （岡山市）観光需要への対応とあるが、具体的にはまだ記載していない。例えば多言語化もあり、交通サービスそのものについて、わかりやすく情報提供するだけでなく、利用しやすくする等、色々な事が有り得ると考える。
国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて楽しい都心空間は良い目標で、これからの岡山にとって重要と考えるが、その中で自転車はどのような方向性になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 都心の中での移動は、徒歩だけでなく、自転車もスムーズで安全に移動でき、目的地の近くで安全に停めることができる環境を整備したいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> バスアプリは重要で、良いアプリケーションを作っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでえきバス時刻表の設置などに取り組んでおり、引き続き利用環境の改善に取り組んでいきたい。

第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成30年4月18日（水）13:30～
場所：勤労者福祉センター4階大会議室

■質疑の要旨（4/5）

	質問・意見	事務局回答
国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標1は、市民1人あたりの公共交通利用回数としているが、公共交通利用を増加させること自体が目標ではなく、手段的なものである。渋滞緩和、路線維持、CO2排出削減などの目標につながる1つの目盛りになるなど、目標と絡めて上手く説明出来るようにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後人口が超高齢者社会を迎え、免許を返される方が多くいる中では、公共交通を利用しやすい環境を整備したい。その中で、利用回数も増えていくものと考えて指標とした。
	<ul style="list-style-type: none"> 観光的な指標や記載が特に見られなかったが、住民への対策が観光としての対策にもなるという理解で良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方が動きやすい状況の創出が観光客も移動しやすい環境になると考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 資料の中で実施主体を記載いただいているが、岡山市が入っているものと入っていないものがある。その違いはどこか。将来的な補助金の対象という意味ではすべて対象に感じる。 ICカードの利用環境の拡大や高齢者割引においては市の支援等も将来的に必要と考えられるが、そのあたりも事業者が主体となるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施主体として想定される施策に岡山市を記載しており、将来的なことを含めて、補助金の対象かどうかは判断基準としていない。ただし、主体として記載がないから市が対応しないわけではない。
	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標1の公共交通利用回数を増やすことが、岡山の交通にどういったメリットがあるのか示しながら、行動変容を促していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えばどの程度利用者を増やせば採算が取れるかを示すなど、地域の方にわかりやすい説明について考えていきたい。

第3回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成30年4月18日（水）13:30～
場所：勤労者福祉センター4階大会議室

■質疑の要旨（5/5）

